



平成22年3月19日

各 位

会 社 名 株式会社 間 組 (呼称:ハザマ)
代 表 者 名 代表取締役社長 小 野 俊 雄
(コード番号 1719 東証第1部)
問 合 せ 先 総 務 部 長 山 田 隆 正
(TEL. 03 - 3588 - 5700)

新中期経営計画「ハザマ第4次中期計画」策定に関するお知らせ

当社は、平成23年3月期を初年度とする3ヵ年の新中期経営計画「ハザマ第4次中期計画」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

建設市場は、民間設備投資が低水準で推移していることに加え、政府建設投資の大幅な減少により、今までの想定を超える厳しい状況になってきております。

当社は、現在まで平成21年3月期を初年度とする現中期経営計画を遂行してまいりましたが、このような事業環境の変化に時機を逸することなく対応し、新たな施策を打つことが必要不可欠であるとの認識に立ち、今般、「第4次中期計画(平成23年3月期～平成25年3月期)」をスタートすることといたしました。

「第4次中期計画」は、現中期経営計画の骨子でもある「採算性の最優先」、「経営資源の最適配分」、「技術力・現場力」などの施策を活かしつつ、受注競争の激化、顧客ニーズの多様化、市場の縮小など、さらなる環境の変化にも耐えうる事業基盤を早期に確立することが、最重要課題であるとの認識のもと、

- 間接部門の効率化・簡素化を徹底し、事業環境の変化に見合うコスト構造とする
 - 最前線の現場と営業に経営資源を集中投入し、採算性と事業規模を確保する
 - 取組から完成迄の工事管理を徹底し、採算変動リスクを排除し利益を確保する
- を骨子とした施策を展開してまいります。

建設業を取り巻く環境は、まさに激動の時にあり、不退転の決意のもとスピード感をもって「ハザマ第4次中期計画」を実行し、「価値ある『ハザマの創造』」を実現してまいります。

株主をはじめとする皆様のご期待にお応えできますよう、全社一丸となり鋭意努力してまいりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以 上

ハザマ第4次中期計画

価値ある「ハザマの創造」

～資源を集中し利益を安定確保～

- 事業を支える基盤の再構築
- 将来への確かな道すじ

2010年3月19日

株式会社 間 組

ハザマ第4次中期計画

I. 数値目標（2013年3月期 個別業績） ～利益の安定確保

受注高	:	1, 550億円（土木700億円、建築850億円）
売上高	:	1, 600億円
営業利益	:	40億円
経常利益	:	25億円
運営人員	:	1, 800人規模

II. 事業環境の変化に見合うコスト構造の確立 ～事業を支える基盤の再構築

1. 本支店組織のスリム化・フラット化
2. 間接部門経費と人件費の削減による固定費圧縮（150人規模の早期退職を含む）
3. 財務体質の改善

III. 採算性と事業規模の確保 ～将来への確かな道すじ

1. 資源の最適化
 - …最前線の現場と営業に経営資源を集中投入
 - …「技術力・現場力」「営業力・受注力」のブラッシュアップ
2. 生産システムの再構築
 - …取組から完成迄の工事管理の徹底による利益の確実化
 - …購買体制・協力会社との信頼関係強化、安全・品質の徹底、環境への配慮
3. 営業プロセスの再構築
 - …営業・工事・技術・管理で総がかり体制、集散のスピードアップ
4. 土木事業
 - …得意分野における総合評価案件で、利益と量を確保
 - …エネルギー・環境分野への積極的な取り組み
5. 建築事業
 - …営業基盤の厚み増強、営業ツールの充実とバックアップ強化
 - …首都圏・大都市圏に注力、リニューアルを強化
6. 海外事業
 - …得意地域・分野に特化、リスク・採算管理の徹底で利益を確保

IV. アライアンス

- …安藤建設、西武建設との共同取組の推進

V. CSR等

- …体制を整えCSR活動を総合的に推進
- …コーポレートガバナンスの強化、リスク管理の徹底